

第7回軍馬・軍犬・軍鳩 合同慰霊祭

編集委員

白石 博司 陸自66

開花宣言以降も好天氣が続き、一挙に咲き誇った靖國の桜の下、平成30年4月1日午後13時から第7回「軍馬・軍犬・軍鳩合同慰霊祭」が遊就館前の軍馬、軍犬、軍鳩の銅像前で厳肅に執り行われた。

これらの像は、今次大戦を含む幾多の戦役で活躍・陣没した馬・犬・鳩の慰霊のために建てられたものである。

各慰霊像の前にはそれぞれの好物が供えられ、国歌君が代の斉唱ののち、慰霊祭が執り行われた。

齋主・吉岐権禰による祝詞奏上に引き続き、「愛馬進軍歌」「軍用大行進歌」「勇ましき軍鳩」が献楽され、参列者一同で合唱した。

次に、就任1カ月目の小堀邦夫新宮司、富澤暉理事長、深山明敏戦没馬慰霊奉賛会代表、熊谷猛慰霊・援護委員長ほか、各関係団体の方々の玉串奉奠の後、放鳩式で白鳩が青空に放たれた。

引き続き昇殿参拝を行い、靖國神社の御祭神の戦友として戦場に斃れた軍馬・軍犬・軍鳩の慰霊鎮魂を祈り、祭典は滞りなく終了し、偕行社に場所を

移して直会が行われた。

この慰霊祭は、平成23年までは毎年それぞれに、関係部隊の戦友会等が主体となって実地していたが、関係団体等も規模が小さくなり、平成24年から合同で実施することとなり、毎年4月の第1日曜日に執行されている。

関係の戦友会の方々も少なくなり、これら靖國の御祭神の戦友の活躍を語り継ぐ数少ない慰霊祭であり、多くの方々にご参列戴き、御祭神とともに活躍したこれら物言わぬ動物達の遺訓と忠魂を称えるため、各唱歌を憶えて、大きな声で歌っていたきたい。

